

学校だより

伊豆市立修善寺東小学校
第12号
令和3年1月22日発行

「学校評価アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。集計結果をまとめ、校内で検討した内容の特集です。皆様からいただきました貴重なご意見等を、今後の指導に生かしていきたいと思えます。

数値は、「あてはまる:4点」「まあまああてはまる:3点」

「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」とした平均値を表しています。

令和2年度 後期 学校評価(児童・保護者) 集計表 (太字は3未満)

前期	評価項目	児童	保護者
1	先生や友達、家族やお客様にあいさつをしている	3.5	3.3
2	授業では、先生や友達の話を最後までしっかり聞いている	3.6	3.1
3	授業では、先生や友達にはっきりと伝えるように話している	3.5	3.1
4	めあてや目標をもって頑張っていることがある	3.5	3.4
5	学校で楽しく過ごしている	3.6	3.5
6	自分には、良いところがあると思う	3.1	3.1
7	自分で考え、進んで行動したり挑戦したりしている	3.2	3.0
8	自分から進んで友達と関わり、勉強したり、仕事をしたりしている	3.5	3.4
9	友達を「さん」づけで呼び、温かい言葉をつかっている	2.7	2.9
10	地域のことを学ぶ学習は楽しい	3.4	3.3
11	TV、ゲームやインターネットなどは、家庭での約束を守ってやっている	3.3	2.7
12	学校や学級のルールを守って生活できている	3.6	3.1
13	登校や下校、遊びや自転車に乗る時、決まりを守り、安全に気をつけている	3.7	3.5
14	いじめられたり、物を隠されたり、嫌なことをされていない	3.7	3.4
15	困ったときは、教師に相談したり、協力してもらったりしている	3.2	3.2
16	決められた宿題をしっかりとやっている	3.7	3.3
17	忘れ物がないように学校の支度や準備をしている	3.5	3.1
18	友達の考えを聞いて、自分の考えを発表している	3.5	3.3
19	授業で勉強していることが分かる	3.5	3.2
20	百ます計算をしたり、言葉を調べたり、暗唱名人を覚えたりできている	3.5	3.3
21	いつでも読めるように本が近くにあり、進んで読書をしている	3.4	2.7
22	休み時間など進んで外遊びをし、朝運動や体力作りも一生懸命にやっている	3.4	3.0
23	家の人に、学校での出来事を話している	3.3	3.2

保護者アンケート「お子さんは学校生活を楽しんでいる」の項目に対し、「あてはまる:4点」「まあまああてはまる:3点」と答えた方が96%(前期94%)を超えています。子供たちの学校生活を肯定的に捉え、学校と家庭が協力して子供たちを育成していることが分かります。「どの子どもも楽しい学校」となるよう、教育活動の充実と一人一人へのきめ細かな支援を行っていききたいと思えます。

一方、「あまりあてはまらない:2点」が「あてはまらない:1点」と答えた方が20%以上の項目は、前期の7項目から減って4項目でした。「TV、ゲームやインターネット等を家庭での約束を守って利用する」「友達を『さん』付けで呼び、温かい言葉をつかう」「進んで読書をしている」「運動や体力作りに取り組んでいる」については、特に力を入れて指導していききたいと思えます。

「こんな子供になってほしい」というアンケート項目では、以下の内容が多かったです。(人数)

- ① **思いやり**のある優しい子(20)、人の気持ちや痛みの分かる子(9)
 - ② 周りに流されることなく、**自分で判断**して行動する子(7)
 - ③ 自分の可能性を信じて(失敗を恐れず)**挑戦**する子(6)
 - ④ 元気に**あいさつ**できる子(5)
 - ⑤ みんなと仲良く**協力**できる子(4)、明るく**元気**な子(4)、自分の**思いを伝えられる**子(4)
- 皆様の願いに近づけるよう、教職員一丸となって、取り組んでいきたいと思ひます。

以下、アンケート結果を検証し、保護者の皆様からいただいたご意見を参考にさせていただいた内容を、5つの視点でまとめました。

(1) 学習・読書活動の充実について「**学力**」「**読書**」

- ・当該学年の学習が定着するよう、復習に力を入れていきます。
- ・読書については、週1回は学校図書館へ行き、週末読書にも力を入れています。
(教師も子どもと一緒に読書をしています、ご家庭でもノーメディアデーや週末を中心に、お子さんと一緒に読書をしていただけるとありがたいです)
- ・読書の記録を工夫しながら残していくことも、来年度は考えていきたいと思ひます。

(2) 豊かな心の育成について「**さん付け**」「**言葉遣い**」

- ・「さん付け」の後には、乱暴な言葉が出にくいものです。相手を尊重し、丁寧な言葉をつかえるよう、指導していきます。
- ・「すてきな言葉」集めに続いて、「さん付け」キャンペーンも児童会活動で行いました。これらを広め、温かい言葉にあふれた東小にしていきたいと思ひます。

(3) **自己肯定感**について「よいこと見付け」(前期より向上してはいますが)

- ・自己肯定感の低いお子さんが多いです。「よいこと見付け」を各学級で位置付けながら、お互いのよさを認め合い、自信と自己有用感をもてるようにしたいと思ひます。
(ご家庭でもお子さんのよさを見付け、誉めていただきたいと思ひます)

(4) メディアの利用について「**TV**、**ゲーム**や**インターネット**等」

- ・「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」と答えた方が、前期と同様に38%もいらっしゃいます。ネット依存の傾向が見られるお子さんもいますので、家庭で約束を決め、しっかりと守れるよう、声掛けと見届けをよろしくお願ひします。

(5) **運動・体力作り**について

- ・「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」と答えた方が25%もいらっしゃいます。コロナウィルス感染拡大防止のために、マスク着用や人との距離確保等の運動制限もあり、思うように運動できなかったことも影響していると思ひますが、一人一人が目標をもち、意欲的に取り組めるよう、励ましや見届けをしていきたいと思ひます。

※ 学校への協力的なご意見を多数いただきました。

今後もお気付きの点がありましたら、お気軽に学校へご連絡ください。どうぞよろしくお願ひ致します。

(文責:井村)

